

さあ、はじめよう！ 田んぼの生きもの調査 ～「農」が支えるたくさんのいのち～



2021年3月

全農グループSR事務局
((株)全農ビジネスサポート)
山崎敏彦

▼ **協同組合、全農とSR(社会的責任)活動**

▼ **田んぼの生きものの調査**

▼ **活動の広報**

協同組合とは・・

★一人ひとりでは経済的に弱い立場にある個人や中小規模の事業者などが集まり「相互扶助」の精神で助け合いながら共通の目標を達成するための組織です。

★日本では、農業協同組合(JA)、漁業協同組合(JF)、森林組合、生活協同組合(生協)などがあります。

★One for all, All for one



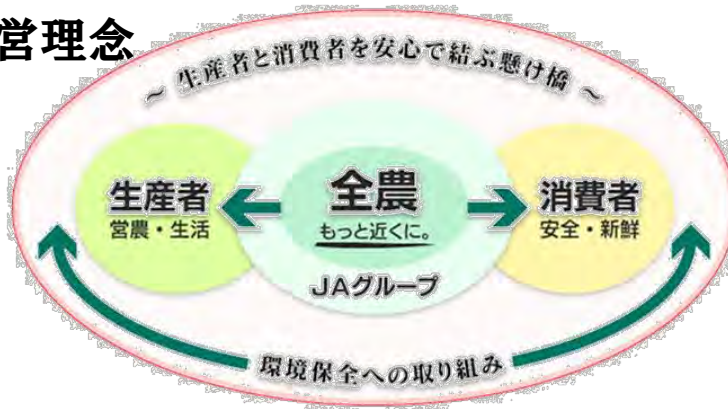
全農とは・・

【名称】

全国農業協同組合連合会

(本所、県本部:32都府県)

■経営理念



- 生産者（農家）が生産した農畜産物を流通向けに販売
- 農業に係る技術指導、農業生産に必要な資材や日々の暮らしに必要な生活用品を供給

代表・総合調整・経営相談事業

JAグループの意見を代表・総合調整し、組織、事業及び経営に関する相談に応じる。

経済事業

組合員の生産した農畜産物を消費者に届ける「農畜産物販売事業」と組合員に必要な資材を供給する「生産資材販売事業」を行う。



共済事業

生命共済、損害共済、年金共済を扱い、組合員の生活を保障する役割を担う。

信用事業

組合員の貯金を原資に組合員に対する各種金融サービスを行う。

その他の事業

厚生事業、新聞情報事業、出版・文化事業、旅行事業を行う。(日本農業新聞・家の光協会・農協観光・JA全厚連・JA厚生連)

■食農SR活動（料理教室、農業体験ツアーなど）



■スポーツSR活動（卓球、サッカー大会、野球教室など）



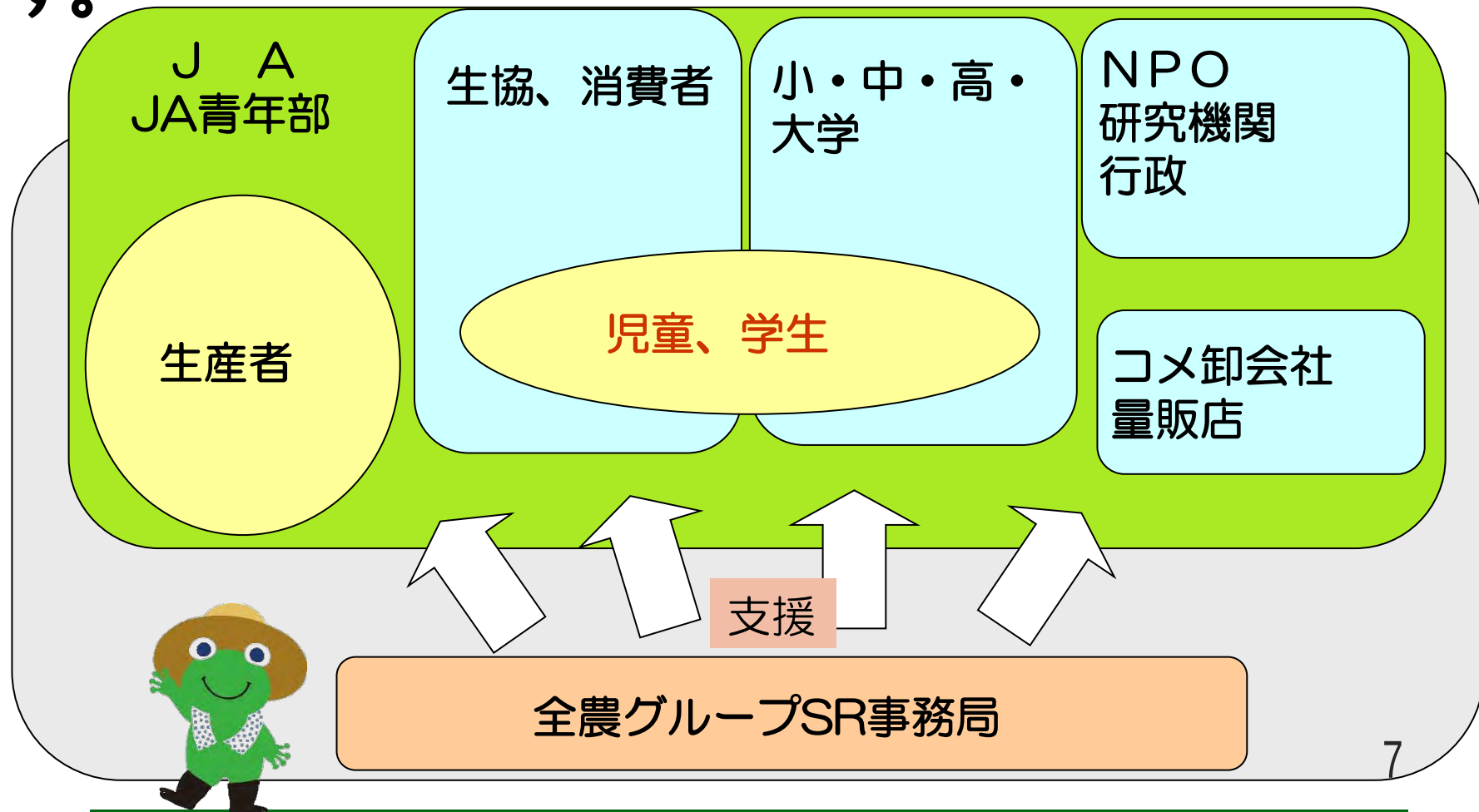
2001年から環境SR活動の柱として『田んぼの生きもの調査』に取り組み、20年を経過しました。



■経過

- 2005年4月、JAグループ、生協、NPOなどと「田んぼの生きもの調査プロジェクト」を設立し本格的な活動を開始。
- 全国のJAや生産者が、「田んぼの生きもの調査」に取り組むよう、支援している。
- 「講師の派遣」、「研修会開催」、「広報活動」

■ JAグループの「田んぼの生きもの調査」を支援しています。



開催実績

■開催実績

- 過去10年の実績は、実施回数577回、延べ参加人数は2万9千人。(全農が直接かかわったもの)
- JA「あぐりスクール」、小学校の出前授業が拡大。

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	計(回)
県本部	11	11	2	6	5	6	6	4	4	1	56
本所	1	3	6	6	5	4	6	5	3	2	41
JA	1	3	32	28	30	31	34	40	29	4	232
生協等	17	18	11	12	13	15	15	10	11	2	124
学校	3	10	5	6	7	7	12	14	13	5	82
その他	3	0	3	2	7	5	5	10	5	2	42
計 A	36	45	59	60	67	68	78	83	65	16	577
のべ参加 人数 B	1,350	2,149	2,892	3,192	3,522	3,596	4,202	4,027	3,486	437	28,853

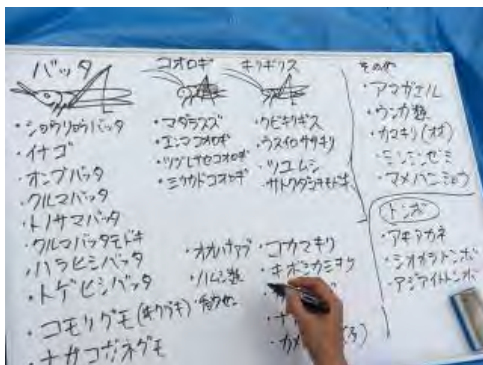
注：コロナの影響で本年度減

8

参加者ごとの取り組み 3 パターン



- ①消費者の「生きものの調査」
- ②学校の「生きものの調査」
- ③生産者の「生きものの調査」



①消費者の「生きもの調査」

➤ 田植えや稲刈りなど「産地交流」として、実施しています。（生協とJAが共催）



➤ 家族参加のため「生きものに触れる体験」を中心に、クイズなどで「田んぼ」の理解を深めるよう工夫します



②学校の「生きもの調査」

➤ 小学校（総合学習）で、「生きもの調査」を体験し、教室にもどってまとめをします。

➤ 高校では、環境授業として参加し、「田んぼのもつ生物多様性保全」を学びます。

➤ JA「あぐりスクール」での採用も増加中。



③生産者の「生きもの調査」

➤ 農作業暦に「生きもの調査」を採り入れ、商品化につなげています。
(JA佐渡、JAたじまなど)

➤ 消費者や関係者との協同活動として実施、学習会なども行ってきました。



内部研修会

「田んぼの生きもの調査」を各地に広めるため、JAグループ職員向けを対象にした研修会を毎年開催しています。



参加者は講師の指導のもと、調査の意義と具体的な手法を学び、実際に圃場での調査も体験します。



JA全農プレゼンツ「田んぼの生きもの調査」

JA全農 プレゼンツ 2020 田んぼの生きもの調査
～稲刈り体験と秋の生きもの調査～



参加親子募集中!

日時 2020年10月17日(土)

場所 神奈川県伊勢原市大田公民館 (旧大田ふれあいセンター)
神奈川県伊勢原市下谷1474-1

募集人数 親子20名程度
*応募多数の場合は抽選になります。
*抽選後、当選された方へのみご連絡させていただきます。

参加費 1組500円 (当日お支払い下さい。)

持ち物 帽子・タオル・着替え・雨合羽・飲み水・長くつ

注意事項 当日の写真や動画はHPやSNS、印刷物に掲載させていただきますので予めご了承ください。

募集締切 2020年10月9日(金)まで

お申込方法 下記のフォームへ必要事項記入のうえFAXまたはメールにてお申込みください。(メールの方は必要事項を必ず記入して送信して下さい)

FAX: 03-3296-8929
E-mail: tanbo@z-bs.co.jp

スケジュール
9:30～ 受付開始
10:00～ 開始
10:30～ 田んぼに入る
12:10 解散

Twitterで
情報発信してるよ!!
みんなフォローしてね!!

ふりがな
氏名 (保護者) _____ 学年 _____ 年生 _____
ふりがな
ご住所 〒 _____
e-mail _____

※当選通知はe-mailにて行ないますので記入漏れのないようお読みください。



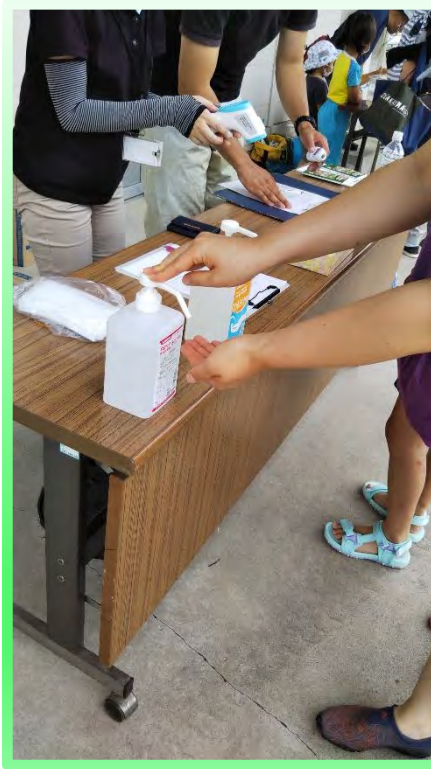
神奈川県伊勢原市で
親子対象「田んぼの生きもの
の調査」を毎年開催

コロナ禍：感染対策を行いながら実施

コロナ禍により、感染対策に十分配慮しつつ実施しました。



受付での検温



アルコール消毒



オープンな空間確保
距離をとって座学



活動は全国に拡大中

田んぼの恵みを知る、生きものとの出会い

全国各地で、「田んぼの生きもの調査」を行っています。



全農は、さまざまなSR(社会的責任)活動に取り組んでいます。そのひとつが、「田んぼの生きもの調査」。お米づくりだけでなく、メダカやカエルなど多様な生きものを育ててきた田んぼの豊かさを、生産者や子どもたちなどが一緒に体験できる活動です。「農を支える、たくさんのいのち」を実感するこの活動は、全国各地に広がっています。

毎年、ぼくらも見つけも活動をしているんだね!



田んぼの生きもの調査
主な開催事例(最近3ヵ年)

北海道
旭川市

秋田県

北秋田市
秋田市
仙北市
大仙市
由利本荘市
にかほ市
横手市

宮城県

大崎市

福島県

福島市
郡山市
白河市
いわき市

栃木県

佐野市
足利市

茨城県

那珂市
石岡市

千葉県

芝山町
印西市

埼玉県

杉戸町

神奈川県

伊勢原市
平塚市
小田原市

山梨県

甲府市

三重県

志摩市
名張市

徳島県

美波町

高知県

岡万十市

岐阜県

恵那市
大瀬市

滋賀県

東近江市

兵庫県

豊岡市
新美町
朝来市
丹波市
神戸市

岡山県

津山市

鳥取県

松江市
出雲市
大田市
浜田市
笠岡市

広島県

安芸高田市

福岡県

糸島市

大分県

大分市
豊後大野市

活動の広報① (SNS)

➤小島よしおさん「おっぱっぴー小学校」とコラボし、「生きものの調査」体験動画を、春、秋の2回発信(YouTube)

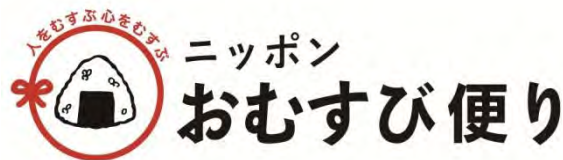
➤全農田んぼの生きものの調査Twitterにて「生きものの調査」の方法や田んぼの生物多様性保全機能、田んぼの生きものなどについて発信



活動の広報②（農業体験ツアー＆ラジオ）

➤ 東京FMの協賛番組「あぐりずむ」と共催し、番組リスナーを招待

ラジオを活用した情報発信



全国 JFN TOKYO FM

全国のFM38局で毎週木曜「あぐりずむ」でオンエア
アンバサダー 川瀬良子



活動の広報③ 資材の制作、配布

➤ 小冊子

➤ バンダナ

➤ クリアファイル



「田んぼの生きものの調査」から学ぶもの



- 田んぼはイネを生産すると同時に生きものを育てており、「生物多様性保全」に重要な役割を果たしている。
- 生きものや地域の自然を維持してきたのは、農家が長年にわたり田んぼをつくり続けてきた結果である。
- 私たちが、(地元の)ごはんを食べ続けることが、生きものやその自然を支える。



20

おわり





耕そう、大地と地域の未来。